



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月11日

上場会社名 セントラル警備保障株式会社 上場取引所 東証一部
 コード番号 9740 URL http://www.we-are-csp.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 鎌田伸一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 池田克義 (TEL) (03)3344-1711
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日 配当支払開始予定日 平成25年10月28日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	20,324	0.1	525	14.5	646	13.8	352	12.6
25年2月期第2四半期	20,296	2.5	458	39.2	567	31.0	312	116.5

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期△57百万円(△106.3%) 25年2月期第2四半期 925百万円(517.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	24 51	—
25年2月期第2四半期	21 76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第2四半期	35,195	17,933	50.6	1,238 72
25年2月期	35,435	18,192	51.0	1,257 77

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 17,809百万円 25年2月期 18,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	14 00	—	14 00	28 00
26年2月期	—	14 00			
26年2月期(予想)			—	14 00	28 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,400	1.4	860	△9.9	1,040	△15.0	510	△18.7	35 47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期2Q	14,816,692株	25年2月期	14,816,692株
26年2月期2Q	439,754株	25年2月期	439,511株
26年2月期2Q	14,377,104株	25年2月期2Q	14,377,442株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 生産実績	11
(2) 販売実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクス効果による円安や株式市況の復調などを背景に、企業収益が徐々に改善され、デフレ脱却や景気回復の期待感が高まっております。一方で新興国の成長は鈍化し、欧州では依然として財政不安を背景とした景況低迷が続くなど、海外経済は先行き不透明な状況が続いております。

当警備業界におきましては、安全・安心を求めるニーズは引き続き高いものの、価格競争の激しい大変厳しい経営環境に置かれております。

このような状況の中、引き続き、画像関連サービスの拡販と鉄道営業力の強化に注力し、筋肉質で競争力のあるパワフルな企業を目指してまいりました。また、経費面につきましては、低採算契約や販売費及び一般管理費の細かな見直しを行い、収益力向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は203億2千4百万円（前年同期比0.1%増）となりました。利益面につきましては、営業利益5億2千5百万円（前年同期比14.5%増）、経常利益6億4千6百万円（前年同期比13.8%増）、四半期純利益3億5千2百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

セグメントごと及び業務別の業績は次のとおりであります。

(セキュリティ事業)

常駐警備部門につきましては、臨時警備が堅調だったこともあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は103億9千6百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

機械警備部門につきましては、厳しい企業間競争の中、解約防止と売上増に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は65億6千1百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

運輸警備部門につきましては、集配金サービスに尽力した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13億6千6百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

工事・機器販売部門につきましては、鉄道系ICカードが利用できる入退室管理システム「centrics（セントリック）シリーズ」は引き続き堅調であったものの、大型案件が減少したこともあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は14億7千9百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間のセキュリティ事業セグメントの売上高は198億3百万円（前年同期比0.2%増）、セグメント利益（営業利益）は4億1千9百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

(ビル管理・不動産事業)

ビル管理・不動産事業につきましては清掃業務や電気設備の保安業務等の建物総合管理サービス及び不動産賃貸を中心に事業を行っております。当第2四半期連結累計期間のビル管理・不動産事業セグメントの売上高は5億2千1百万円（前年同期比2.2%減）、セグメント利益（営業利益）は1億5百万円（前年同期比31.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億4千万円減少し、351億9千5百万円（前連結会計年度末比0.7%減）となりました。その主な内容は、現金及び預金の増加2億1千7百万円、有価証券の増加3億円、貯蔵品の増加2億4百万円、受取手形及び売掛金の減少2億4百万円、投資有価証券の減少6億5千7百万円などです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ1千9百万円増加し、172億6千2百万円（同0.1%増）となりました。その主な内容は、短期借入金の増加2億2百万円、長期借入金の減少3億4千1百万円などによるものです。

(純資産)

純資産は、利益剰余金の増加1億5千1百万円、その他有価証券評価差額金の減少4億2千7百万円などにより、前連結会計年度末に比べ2億5千9百万円減少し、179億3千3百万円（同1.4%減）となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の変動状況は次の通りであり、前連結会計年度末に比べ3億8千5百万円増加して、38億7千4百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは全体で16億8千9百万円の増加となりました。資金の主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益6億4千6百万円、減価償却費7億1千万円、未払費用4億3千6百万円です。これに対し資金の主な減少要因は、たな卸資産2億4百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは全体で8億1千万円の減少となりました。その主な内容は、有価証券の取得による支出3億円、有形固定資産の取得による支出4億4千6百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは全体で4億9千3百万円の減少となりました。その主な内容は、長期借入金の返済による支出1億6千万円、リース債務の返済による支出1億5千3百万円、配当金の支払いによる支出2億1百万円です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の連結業績予想につきましては、平成25年4月12日に公表した値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,660,273	7,877,564
受取手形及び売掛金	669,125	464,558
未収警備料	3,542,529	3,596,296
有価証券	—	300,000
貯蔵品	625,251	829,327
その他	2,728,666	2,800,008
貸倒引当金	△13,559	△10,544
流動資産合計	15,212,287	15,857,211
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,810,998	5,817,004
減価償却累計額	△2,510,354	△2,619,806
建物及び構築物(純額)	3,300,644	3,197,197
警報機器及び運搬具	11,343,902	11,544,914
減価償却累計額	△8,897,539	△9,086,363
警報機器及び運搬具(純額)	2,446,363	2,458,550
土地	2,955,980	2,955,980
その他	1,198,726	1,261,340
減価償却累計額	△896,297	△947,279
その他(純額)	302,429	314,061
有形固定資産合計	9,005,418	8,925,790
無形固定資産	1,473,011	1,325,543
投資その他の資産		
投資有価証券	6,350,507	5,692,695
その他	3,431,670	3,430,669
貸倒引当金	△37,099	△36,399
投資その他の資産合計	9,745,078	9,086,966
固定資産合計	20,223,507	19,338,300
資産合計	35,435,795	35,195,512

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,222,840	1,150,590
短期借入金	1,131,979	1,334,535
未払法人税等	368,693	275,979
前受警備料	275,495	281,878
預り金	4,879,713	4,820,529
賞与引当金	840,257	835,395
役員賞与引当金	43,600	21,650
その他	2,584,015	3,191,107
流動負債合計	11,346,594	11,911,667
固定負債		
長期借入金	2,336,500	1,995,290
退職給付引当金	148,853	157,799
役員退職慰労引当金	28,715	32,084
資産除去債務	217,495	218,689
その他	3,164,804	2,946,525
固定負債合計	5,896,369	5,350,389
負債合計	17,242,963	17,262,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,924,000	2,924,000
資本剰余金	2,784,157	2,784,157
利益剰余金	9,662,046	9,813,079
自己株式	△394,292	△394,513
株主資本合計	14,975,910	15,126,723
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,115,581	2,688,119
繰延ヘッジ損益	△8,312	△5,842
その他の包括利益累計額合計	3,107,269	2,682,277
少数株主持分	109,651	124,455
純資産合計	18,192,831	17,933,455
負債純資産合計	35,435,795	35,195,512

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	20,296,075	20,324,854
売上原価	16,409,219	16,272,288
売上総利益	3,886,855	4,052,566
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,435,464	1,478,324
賞与引当金繰入額	180,252	196,582
役員賞与引当金繰入額	17,250	19,950
退職給付費用	51,371	37,130
その他	1,743,820	1,795,450
販売費及び一般管理費合計	3,428,159	3,527,438
営業利益	458,696	525,127
営業外収益		
受取利息	1,363	625
受取配当金	108,637	124,081
受取保険料	19,084	13,431
その他	28,918	27,101
営業外収益合計	158,003	165,238
営業外費用		
支払利息	41,097	37,296
その他	7,683	6,902
営業外費用合計	48,780	44,198
経常利益	567,919	646,167
特別利益		
固定資産売却益	—	210
特別利益合計	—	210
特別損失		
固定資産除却損	941	327
減損損失	968	—
特別損失合計	1,910	327
税金等調整前四半期純利益	566,008	646,050
法人税、住民税及び事業税	248,351	246,311
法人税等調整額	△1,272	34,408
法人税等合計	247,078	280,719
少数株主損益調整前四半期純利益	318,930	365,330
少数株主利益	6,091	13,017
四半期純利益	312,838	352,313

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	318,930	365,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	602,644	△426,891
繰延ヘッジ損益	3,759	3,685
その他の包括利益合計	606,403	△423,205
四半期包括利益	925,333	△57,874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	917,703	△72,678
少数株主に係る四半期包括利益	7,629	14,803

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	566,008	646,050
減価償却費	659,112	710,234
固定資産除却損	48,322	27,190
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△93	—
前払年金費用の増減額(△は増加)	△13,969	△62,465
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,245	△4,861
受取利息及び受取配当金	△110,000	△124,706
支払利息	41,097	37,296
売上債権の増減額(△は増加)	391,113	150,799
たな卸資産の増減額(△は増加)	20,646	△204,076
仕入債務の増減額(△は減少)	△223,936	△72,250
未払費用の増減額(△は減少)	43,636	436,028
預り保証金の増減額(△は減少)	19,835	5,747
その他	37,708	396,230
小計	1,480,727	1,941,217
利息及び配当金の受取額	110,000	124,706
利息の支払額	△41,190	△37,422
法人税等の支払額	△307,862	△338,659
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,241,675	1,689,842
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	318,305	△194
有価証券の取得による支出	△300,000	△300,000
有形固定資産の取得による支出	△827,629	△446,182
無形固定資産の取得による支出	△478,900	△61,786
投資有価証券の取得による支出	△4,166	△4,488
その他	3,000	1,758
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,289,391	△810,892
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	7,746	△7,735
長期借入れによる収入	—	30,000
長期借入金の返済による支出	△160,638	△160,917
リース債務の返済による支出	△118,181	△153,457
配当金の支払額	△201,286	△201,280
自己株式の取得による支出	△183	△220
財務活動によるキャッシュ・フロー	△472,544	△493,611
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△520,260	385,337
現金及び現金同等物の期首残高	3,773,155	3,488,663
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,252,894	3,874,001

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日）
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	セキュリティ 事業	ビル管理・ 不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,762,425	533,650	20,296,075	—	20,296,075
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,129	136,324	138,453	△138,453	—
計	19,764,554	669,974	20,434,529	△138,453	20,296,075
セグメント利益	378,342	80,353	458,696	—	458,696

(注) 1. 調整額△138,453千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	セキュリティ 事業	ビル管理・ 不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,803,071	521,783	20,324,854	—	20,324,854
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,351	141,689	144,040	△144,040	—
計	19,805,422	663,472	20,468,895	△144,040	20,324,854
セグメント利益	419,803	105,323	525,127	—	525,127

(注) 1. 調整額△144,040千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日）
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産実績

当社グループは生産活動を行っておりませんが、当第2四半期連結累計期間末日現在実施中のセグメントごとの契約件数は、次のとおりであります。

セグメント名称及び業務別名称	契約件数(件)	前年同四半期比(%)
(セキュリティ事業)		
常駐警備	857	101.1
機械警備	80,956	107.5
運輸警備	2,605	102.0
小計	84,418	107.2
(ビル管理・不動産事業)	370	100.8
合計	84,788	107.2

(2) 販売実績

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの販売実績は、次のとおりであります。

セグメント名称及び業務別名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
(セキュリティ事業)		
常駐警備	10,396,284	100.9
機械警備	6,561,392	101.3
運輸警備	1,366,299	100.7
工事・機器販売	1,479,095	91.3
小計	19,803,071	100.2
(ビル管理・不動産事業)	521,783	97.8
合計	20,324,854	100.1

(注) 1 上記金額には消費税等を含んでおりません。

2 総販売実績に対する主な相手先別の販売実績の割合が10%未満のため、主要な販売先については記載を省略しております。